（ 令和４ ）年度　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　（ 23 梅津 ）児 童 館

	活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
	（1）日常の自由あそび	随時												遊具を使ったあそび	遊具を使う場所を決め、人数を制限したりすることで密になることが防げた。また、一人で遊べる塗り絵、迷路やクイズなどを充実させた。
	図書の貸出	随時	30		9				32				71	地域の方、乳幼児親子向け絵本や育児書、小学生が対象。マンガや図鑑は貸し出しはしていない。	行事後や乳幼児クラブ後の貸し出しが多かった。色々な本が借りられることで家でのコミュニケーションに繋がっている。小学生の貸出も時々あった。
	（2）あそびの教室 将棋のひろば	11	1	10	22		1		2				36	はさみ将棋や詰将棋問題を解いたり、メンバー同士で本将棋を対戦し合う。毎月土曜日(1回)	基本子ども同士で対戦をする。中には初めてする子もおり、将棋に親しむいい機会になっているが、初心者と上級者が参加したときの対応を考慮しておく必要がある。また、なかなか子ども同士だけでは限界があるため、コロナが緩和されれば、地域や外部の方を呼んで活動を広げたい。そのため、広報の方法を検討する必要がある。
	工作	11	1	36	91	12	5		1				146	プラバン、アイロンビーズ、スライム、夏の工作「万華鏡」、クリスマス工作、凧作り	今年度は、学童児童と一般児童をわけて実施。分けたことで、一般来館の参加が増加した。季節に沿った工作は、興味を持って参加し、作る楽しみを感じたり、完成した達成感を感じてもらえた。一人ひとりの個性や感性を大事にし、子ども達が主体的に作れるよう視覚的アプローチを工夫したり、見守りも大事にしていきたい。
	こま月間、こま検定	6		6	69	1	5						81	コマ検定の検定表をもとに、１０級から１級まで、また段にも挑戦する	初めてする児童はひもの巻き方から教え、少しずつまわせるようになったり、はまった児童は毎日練習する児童もいた。また、学童OBで段の技を練習するために来館する児童もいた。検定日をバラけることで、モチベーションを高く維持することができた。また、積み重ねが評価してもらえるいい機会になっている。その反面、苦手な子へのアプローチを大事にしたい。
	もしかめ記録会	2		1	32								33	もしカメが何回できるか挑戦。できた数によりご褒美シールが貼れる。	1年生や初心者の子も受けやすく、記録会があることで取り組むきっかけになっていた。さらに記録カードやご褒美シールも意欲につながった。遊戯室に最高記録を張り出すことで、他者の記録に興味を持ち、競い合ったり、コツを教え合ったりする姿も見られ良かった。高学年の記録に、低学年の児童も感銘を受け、モチベーションアップにもつながった。但し、広報時期や方法について検討する必要がある。
	（3）行事活動 避難訓練	12			606		67						673	毎月、火事、地震、水害、不審者対策のテーマで実施。小学校や公園への避難方法や窓からの避難方法を職員も含め確認する。	４つのテーマに沿って、繰り返し学習したり、実際に避難することで、職員も子どもも意識が高まり、身についている。年間を通して計画を立て、今後も継続して行うことで、いざというときに児童も職員も落ち着いて速やかに的確な行動ができるようにしたい。また来年度は、警察署や消防署の方を呼び、知識と経験をさらに深める機会を作りたい。
	児童館探検	1		2	10								12	児童館の行事やあそびの紹介、スライム作り	児童館の行事やクラブ、遊びを知ってもらう機会になっている。また、上級生が下級生に教える機会にもなっている。ただ参加者が少ないため、実施月やPR方法、内容は検討していきたい。
	構口公園へ行こう	1			24		13		2				39	構口公園へおでかけ、自由あそび	代休日を利用して、近所の公園に学童児もつれておでかけ。現地にいた小学生も交えてみんなで遊ぶ。児童館の宣伝もでき、また異年齢で楽しく過ごすことができた。
	館内オセロ・将棋大会	1			29		1						30	申込制による、オセロ大会・将棋大会	ブロックに分けてトーナメント戦をし、各ブロック優勝者がリーグ戦で戦う。オセロも将棋も戦いが進むにつれて白熱した戦いが繰り広げられていた。優勝者は賞状がもらえ、自信につながっていた。但し、申し込みが学童児のみだったため、PR方法を検討したい。
	基														

子ども育成機能	基本活動	プチ縁日実行委員会	1				1	5						6	こども企画による行事。各コーナーあそび（射的、わなげ）の準備、当日の設営・運営	夏休みを利用して、職員の補助がありつつも子ども達で考えて作ったり、思考錯誤して準備を進めていた。当日も各コーナーで下級生に優しく説明したりしている姿があった。終了後の感想では、各々達成感や充実感を感じられたようだ。高学年クラブが言い出したことがきっかけで、実行委員会の開催や、他クラブの協力も得て実施できてよかった。
		プチ縁日	1	4	11	47	1	8		7				78	こども企画による行事。各コーナーあそび（射的、わなげ、ダーツ、スマートボール、スーパーボールすくい、景品くじ）	３０分間ずつであったが、浴衣を着てくる児童もおり、夏らしい行事に参加者も喜んでいた。乳幼児や父の参加もあり、コロナ禍で行事が減っている中、家族で楽しんでもらえた。
		チャレンジパーク実行委員	2				5	8						13	テーマ決め、コーナー準備、当日の運営、けん玉・こまの発表	子ども達から集めた意見を参考に、テーマを決める。１つのコーナーを担当してもらい、画用紙などを使って発想豊かに作り上げていた。また当日は、乳幼児親子や小学生の前で堂々と発表したり、コーナーに来た乳幼児や小学生への対応が上手になっており、自信がついてきている。
		クリスマス会	1		11	28	5	3					1	48	高学年クラブ員による司会進行、チーム対抗クイズ大会、職員の出し物、プレゼント	高学年クラブが主体として内容を考え実施。回を重ねることで自信につながっている。参加した子ども達は、出し物をみたり、みんなでゲームをして楽しい時間になっていた。季節を感じられる機会となっており、子ども達は毎年楽しみにしているようだ。
		凧あげ	3		4	29		1						34	凧作りをしたあと、小学校のグラウンドに凧あげにいく	自分で作った凧が高くあがるととても喜び、達成感を感じていた。毎年申し込んでる児童もおり好評である。職員含め作り方などを継承していき、今後地域の凧あげ大会につながればよい。
		おたのしみ会	1		7		7							14	高学年クラブが主体として実施。みんなあそび（ハンカチ落とし、ドッジビー）と工作（アイロンビーズ）	無理のない内容だったため、子ども達も気軽に準備・運営ができた。司会進行も自分達で考えてでき、様々な行事を運営してきたことで力がついた。参加者も、高学年の姿に憧れを抱いたり、楽しめたようだ。
		（４）クラブ活動 高学年クラブ Umeっこクラブ	13			32	31							63	工作（プラバン、アイロンビーズ、レジンアクセサリー、小物入れ）、公園へおでかけ、子ども企画(プチ縁日、チャレンジパーク、クリスマス会、おたのしみ会）の中心として活動や当日の進行	クラブ員の意見から昨年度より活動の幅が広がり、職員が補助しつつ初めての行事もUmeっこクラブが中心となって企画・実行することができた。他の人を楽しませる行事だけでなく、自分達だけで楽しむ内容も行うことで、メリハリができており、自己実現の場となっている。
		あそぶンジャークラブ	10		26	41		5						72	集団ゲーム、工作、カードゲーム等様々なあそびを体験する。毎月土曜日1回	様々なあそびに対してなんでも楽しむ児童が多かった。但し、出席率が悪かったため、もっと児童から意見を取り入れる等クラブの一員としての意識付けが必要だったかもしれない。
		きりえクラブ	22		15	153	9	17						194	難易度順に１０～１級を設定、３枚～５枚上手にできたら昇級。地域の郵便局に掲示	一般での参加が少ないが、土曜日を利用して毎度きりえを楽しみに申し込みしてくれている子がいる。今年度は、地域の郵便局に掲示してもらい、保護者や地域の人に見てもらうことができた。また、掲示されているきりえを、とても嬉しそうにしていた。
		（５）地域交流促進活動														
		梅童クラブ(母親クラブ)	38							266				266	毎週水曜日。地域の母親が卓球を練習しに集まる。	参加者の方が高齢になってきているので、体調等が心配であるが、汗をかくほど毎度楽しんでおられる。年末にはいつも児童館の大掃除をしてくださり、助かっている。
		手話クラブ	10		5	36							25	66	さくらんぼサークルの方に来ていただき、活動している。毎月第１月曜日	指文字やカードを使って手話を覚える。今年度はドラマの影響等で、クラブをのぞく子が多かったり、興味を持つ児童もいたが、継続が難しい。

		園芸クラブ	21		14	105								119	児童館の畑で花や野菜を育て収穫。また、弦を使ってクリスマスリース作りをする。母親クラブの方が畑の助言をしてくださっている。毎月第１、３火曜日	作物の収穫がとても嬉しいようだった。今後も育て、収穫する楽しさを感じる活動にしたい。また、予算などを有効に使い、植物の適期を逃さないためにも年間計画が必要。
		（６）障害のある児童の居場所づくり	随時												それぞれが楽しく遊びやすい環境を作ったり、他の子どもたちと楽しく遊べるよう援助する。	子どもたちそれぞれの過ごし方に合わせて、遊びを提供したり他の友だちの遊びに入れるように配慮する。
		（７）思春期児童の活動支援 中高生タイム	23						11					11	17時から中高生の居場所作りとして、卓球ができるように日付を設定	よく来ていた男子達が、中３になり部活動や受験が忙しくなったためか、昨年度に比べて利用が減少。ただ、時々女子グループがカードゲームや卓球に来館。PR方法の検討や現在小学生の子たちに中高生も利用できることを伝えていきたい。
	推進活動	合　　計		36	148	1363	72	139	11	310	0	0	26	2105		
		(10)移動児童館活動 あおぞら児童館	1	16	6	41	3	4		23		2	8	103	構口公園にて、乳幼児と小学生対象の2部制で実施。大型絵本や工作などのあそびを行い、児童館を広く知ってもらう。	今年度は、梅津まちづくり委員会や大学生、民生さんの協力も得ることができたため、コーナー展開が広がった。家族での参加があったり、偶然あそびに来ていた小学生もいたため、児童館の活動をたくさんの方に知ってもらうきっかけになった。
		合　　計		16	6	41	3	4	0	23	0	2	8	103		
	子ども育成機能合計			52	154	1404	75	143	11	333	0	2	34	2208		

＊注　基本活動は，指針に基づき（２）遊びの教室活動（３）行事活動（４）クラブ活動（５）地域間交流促進活動（６）障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進（７）思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は，指針に基づき（９）地域を知る活動（１０）移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は，指定児童館のみ別途報告すること。

（ 令和４ ）年度　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　（ 23　梅津　）児 童 館

		活動名	実施回数	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	ボランティア 中高生	ボランティア 大学生	ボランティア 大人	合計	内容	成果と課題
子ども家庭支援活動	基本活動	（1）乳幼児とその保護者を対象とする活動 ①乳幼児クラブ活動 乳幼児クラブ 「ぶたさんクラブ」	35	269						217				486	対象：1歳半以上 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、ふれあいあそび、工作、公園におでかけなど。	ごっこあそびや体を使ってあそぶ内容、季節の工作など、家庭ではなかなか出来ない活動が好評だった。また、年間を通して落ち着いて工作できるようになったり、あそびの中で子ども達同士のやりとりもできるようになり、温かい雰囲気で過ごすことができていた。今年度もクラブ後に自由あそびができなかったが、活動の中で子ども同士、保護者間での関係作りの場となっていた。父の参加も見られた。
		乳児クラブ 「ねこさんクラブ」	34	329						295				624	対象：１０ヶ月～２歳 手遊び、読み聞かせ、体操、季節のあそびや工作、公園遊び、大型遊具遊びなど。	昨年度からの持ち上がり親子に加え、新規の親子も増え、学年が２学年にまたがり、今年度も人数が多いクラブとなった。親子単位で遊んだり、体を使って遊ぶ活動を多く取り入れたため、のびのび遊べた。子どもたちの成長も著しく、できるようになることを皆で喜び合う雰囲気が作れていた。
		乳児クラブ 「ひよこさんクラブ」	36	176						169				345	対象：～１歳、マタニティの母親 手遊び、読み聞かせ、ふれあいあそび、季節のあそびや工作、すくすくカード作りなど	2・3ヶ月の月齢の頃から登録して来て下さる親子が多く、1年を通して大きく成長する姿をお互いに喜び合うことができた。第1子目の親子が多かったからか、自ら積極的に話す人は少なかったが、徐々に関係性ができ、穏やかな雰囲気で活動できた。
		②乳幼児の広場活動 あそびのひろば	33	200						189				389	自由参加のひろば。大型遊具等のおもちゃ遊び。最後は、手あそびや読み聞かせ、カード返しをする。親子のふれあい、いろいろな年齢層の親子の交流とする。	乳幼児クラブ登録親子以外にも、自由に遊べることを求めて「あそびのひろば」だけにくる親子や、他学区から来られる親子もいた。自由に遊びながら、母同士交流している姿もよくみられた。
		子育てほっと広場	随時	42	2					37				81	乳幼児親子がおもちゃで遊んだり、ほっとひといきつける居場所の提供をしている。	幼稚園の帰りが早い日や、土曜日の行事についてきた弟妹の利用が主に多かった。親子でのびのびとあそんでいる姿がみられた。
		（2）家族参加を促す活動 幼児クラブ運動会	1	18						13				31	構口公園で実施。	父2人や祖母、兄姉の参加もあり、賑やかになった。気候も良く、子ども達は広い場所で体を動かすことができてよかった。
		幼児クラブ 「消防出張所へおでかけ」	1	14						12					「梅津消防出張所」にて消防車や訓練の見学など	父の参加があり、車や訓練は親子ともに熱心に見学していた。見学中に出動要請があり、途中で中断となってしまったが、出動される姿がみれたことも貴重な経験になった。
		児童館であ・そ・ぼ	4	10	1					9				20	8月の夏休み期間の午前中5回 図書室を乳幼児親子専用として開放 自由あそび（おもちゃ、絵本、育児相談） 事前申し込み制	夏休み期間に乳幼児の居場所作りとして実施。父も一緒にあそびに来たり、初めて児童館に来た家族もいた。その後、乳幼児クラブに入るきっかけになったりしたので良かった。遊具で遊んだり、絵本を見たり、涼しい部屋で各々有意義に過ごせた。小学生が興味津々でドアからみていたため、コロナが緩和されたら、小学生との交流も復活したい。
		乳幼児親子「ファミリーデー」	1	3	2					9				14	手あそび、パネルシアター、バラバルーン、工作「プラバン」	父、祖父母、姉も参加。1組の父は、学童OBだったことが判明し、けん玉等懐かしんでいた。3世代で楽しんでもらうことができた。
		合　計		1061						950	3		0	1990		

	子どもの年齢	件数	受理及び相談経路	件数		相談内容	件数	つないだ機関等	件数
(3)子育て家庭相談・援助活動	乳児	45	児童館にて直接受理	90		健全育成問題	61	児童相談所	1
	幼児	16	児童相談所			家庭養育問題	10	保健所	
	小１～３年（自由来館）	6	保健所			成長・発達問題	17	子ども支援センター	1
	小１～３年（学童）	20	子ども支援センター			教育問題		幼稚園・保育園	
	小４～６年（自由来館）		主任児童委員	2		非行・問題行動	2	小学校	
	小４～６年（学童）	1	その他			その他	2	中学校	
	中学生	4	{ 保育所 }			{ }		総合支援学校	
	高校生							その他 { }	
	件数　計	92	－	92		－	92	－	2

	グループ名	構成人数	活　動　内　容	育成・支援内容	成果と課題
(4)子育てグループを育成・支援する活動					

	活動名	実施回数	活　動　内　容	成　果　と　課　題
(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	地域子育て支援ステーション事業	4	普段児童館で行っていることを公園や体育館で実施したり、子育てのヒントになる分野の専門家を講師に招き講演をしていただく。また、普段体験できないような内容も実施する。（絵本の読み聞かせ、移動動物園、あおぞら児童館、梅津チャレンジパーク）	定員を設け、申込み制で実施。児童館を利用している親子を中心に楽しんでもらえた。イベントをきっかけに乳幼児クラブに登録する親子もいた。今後もアンケートや利用者の声を参考にし、行っていきたい。
	子育てエール	1	講師を呼び、親子の絆を深める。また、子育ての不安の解消に役立てる。（ベビーマッサージ）	地域の方に紹介していただき実施。家ではなかなかできないことを児童館でやることで親子のスキンシップの方法を知れた。また、家でも役立てることができ、好評だった。終了後、講師の方より子育て相談の時間があったことで、母の子育て不安解消にもなりよかったという意見もあった。

※注　基本活動は，指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動　②乳幼児の広場活動]（２）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

（　令和４　）年度　児童館事業年間活動報告書　（23　梅津　）児童館

地域福祉促進機能

基本活動

活動名	実施回数	主催	参加人数 乳幼児	小１～３年 自由来館	小１～３年 学童クラブ	小４～６年 自由来館	小４～６年 学童クラブ	中高生	大人	合計	連携団体	成果と課題
(1)地域住民との交流を促進する活動												
うめづチャレンジパーク	1	児童館	26	21	47	7	6		44	151	梅津小学校、学童クラブ保護者、立命館大学乾ゼミ、梅津まちづくり委員会	今年度もコロナ対策をとった上で地域団体や大学生、保護者の協力を得る。また、高学年以上の実行委員も募り、実行委員会でテーマを決め、1コーナーの準備や当日運営もできた。４０周年記念を兼ねた開会式では、高学年スタッフや学童登録児童にけん玉を披露してもらうなど達成感も得られた。乳幼児や小学生も家族で楽しんで参加してくれた。
移動動物園	1	児童館	26						26	52	民生児童委員協議会	昨年と同じくコロナ禍で、なかなか動物園にいけないという声や、屋外で動物に触れあう機会が出来て良かったという声が多かった。引き続き、来年も開催の希望をする保護者もいた。
家族で絵本を楽しもう	1	児童館	10						9	19	民生児童委員協議会	読み聞かせは子ども達も興味津々で楽しんでおり、また、読み聞かせ中の子ども達の行動を踏まえて、子育てのヒントになるような話があり、お母さん達もすごく参考になった様子だった。終了後の個人相談も色々聞けてよかったようだ。
子育てサロン	3	民生児童委員 児童館	31						28	59	民生児童委員	日頃から児童館を利用している親子が中心の参加だったが、祖母や父の参加もあり、地域の方との交流の場となった。また、子と母を分離して、母のケアを集中してできたことも好評だった。今後も主任児童委員や民生委員の方々との連携を図り、連携して行っていきたい。
運営協力会	2	児童館							17	17	各地域団体	各団体の活動や児童館での活動を報告することで、理解を深める機会になった。
合計		ー	93		47	7	6	0	124	298		

(2)ボランティア活動の促進 活動内容	活動人数 中高生	大学生	大人	合計	成果と課題
手話クラブの指導			24	24	どの方も子どもたちにあたたかく関わって下さっている。地域のボランティアさんと子どもたちの関わりが増えることは、地域に保護者や児童館職員以外の子どもたちを見守る大人の目が増えることにつながっている。今後も担当者との連携を継続していきたい。
園芸クラブの指導			2	2	
大掃除手伝い			8	8	
チャレンジパークの手伝い		3	6	9	
あおぞら児童館の手伝い		2	8	10	
合計		5	48	53	

(3)地域との連携を促進する活動 連携団体等	連携内容	成果と課題
梅津学区社会福祉協議会	敬老の日に向けて子どもたちがプレゼントを制作し、届けていただく。 独居老人とのクリスマス交流会。	梅津の独居老人の方にメッセージカードと干支の豆色紙をプレゼント。下校時の挨拶をしあったりで見守りボランティアにつながっている。クリスマス会では、子ども達の出し物を見てもらったり、楽しい交流ができている。
母親卓球「梅童クラブ」	今年度もコロナ感染拡大防止のため卓球教室の先生として、子どもたちに指導してもらえなかったが、児童館の畑の手入れやアドバイスをしてくださる。毎週水曜日に活動。	コロナ対応のため、活動中の換気等にご協力いただく。年末に館内の大掃除をして下さったり、畑のアドバイスもしてくださっている。来年度は、子ども達への卓球指導も復活させたい。
手話サークル「さくらんぼ」	月１回手話クラブの先生をしていただいている。ゲーム等も取り入れ、楽しく指導していただいている。	身近な会話やあそびを通した指導など子どもたちにも親しみやすい工夫をしてくださり、子どもたちも楽しんでいた。今年度は発表の機会がなかったのが残念だったが、子ども達へ真摯に向き合ってくださった。
梅津学区主任児童委員	子育てエールなどにボランティアで参加していただいたり、二か月に1回子育てサロンを開催。	地域の子育て家庭の状況について情報交換や、心配な家庭の情報共有をしている。また、子育てエールや子育てサロンなどで児童館の利用者に声掛けなどをしてくださっている。
見守り隊	学童児の帰り道に見守っていただく。	子どもたちが安全に安心して帰宅できる。今後も連携を大切にしたい。
右京子ども支援センター	子ども支援に関する行事の日程を連絡・ステーション会議への出席	単発の行事についてはセンター発行の情報紙を見て来館される親子もいる。今後も会議などで情報交換・共有し連携を図っていきたい。
梅津少年補導	少補主催の行事への参加・協力。凧揚げ大会など	会議では意見交換していたが、今年度も凧揚げ大会がなく、子ども達と交流する機会はなかった。
梅津小学校	おたよりの配布依頼、学童クラブ児童に関する情報共有・備品借用など	子どもたちの様子などについて情報共有している。また運動場や体育館を使用させていただいたことで活動の幅が広がっている。

		進める活動	学童クラブ保護者会	チャレンジパークなど児童館事業への協力。	チャレンジパークへは各コーナーの手伝いをしてもらい助かっている。地域の人や子ども達と交流の場となっている。
			えほん館	地域子育て支援ステーションで講師派遣	児童館に理解を持ち、毎年子育てエールで絵本の素晴らしさを子育て家庭の保護者にお話してくださっている。
			東中村公園愛護協力会	公園の環境維持に協力	移動動物園やうめづチャレンジパークでの公園の利用で協力していただき、助かっている。
			梅津まちづくり委員会 （立命館大学/乾ゼミ）	まちづくり主催の「七夕会」「川あそび」「わんぱく冬まつり」に児童館も協力。 児童館主催の「チャレンジパーク」に協力。 企画時から乾ゼミ生と協力して実施	コロナ感染拡大防止の観点より「川遊び」は中止になってしまったが、多くの申込者があった。「七夕会」や「冬まつり」は、たくさんの参加者があり、楽しんでいた。また、「うめづチャレンジパーク」ではあそびコーナーに協力していただき、子どもたちを楽しませてくれた。来年度は、乾ゼミが無くなってしまうが、交流は続けていきたい。
			ほっこりスペース	お互いのおたよりを交換、置いてもらう	おたよりを置いてはいるが、その他交流はないため今後交流を深め、利用者のためにどのような連携ができるか検討したい。
			右京こどもはぐくみ室	乳幼児健診への職員派遣	検診の待ち時間に児童館の紹介等をする。コロナ対策のため親子の滞在時間が短いため、児童館の紹介をするにとどまった。
			第5ブロックの児童館 西京極・太秦・御室・山ノ内・安井・向上社・常磐野・嵯峨・嵯峨野・嵯峨広沢・葛野・梅津北・うたのひこばえ・西京極西	ブロックまつり、ドッジボール交流会、あそび交流会などブロック交流行事 サンサにこにこ広場、イオン子育てほっと広場への参加	コロナ禍でできなかった行事も今年度はやり方をかえながら実施できたものもある。同じ右京区内の職員と連携することで、自館だけでなく右京区全体で乳幼児親子や子ども達を支えることの重要性を再確認できた。今後も情報交換や連携を大切にし、地域貢献していきたい。

（ 令和４）年度　　児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書　　（ 23 梅津 ）児 童 館

地域福祉促進機能

基本活動

	組織名称	構成団体・個人	会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
(4)児童館を支える地域組織作り	梅津児童館運営協力会	梅津社会福祉協議会 右京少年補導委員会梅津支部 梅津民生児童委員協議会 梅津児童館学童クラブ保護者会 梅津児童館 梅津小学校 梅津小学校ＰＴＡ 梅津学区交通安全推進会 梅津まちづくり委員会 梅津自治会連合会 梅津地域女性会 梅津中学校	2回	年間計画 帰宅時の安全見守り 大型行事について 年間総括	2回(11月・3月）に児童館にて実施。 各々の団体の顔合わせと活動報告をしたり、児童館での活動を報告することで、理解を深める機会になった。
	梅津地域ステーション	梅津民生児童委員協議会 照隅認定こども園 富士保育園	1回	情報交換 研修 地域課題への話し合い	地域の特色の共通認識が得られた。また、地域にある子育て支援施設との繋がりができたため、今後の連携を図っていきたい。

推進活動

	会場提供・備品貸出等	使　用　目　的	提供先（団体・機関等）	成果と課題
	会場提供 備品貸出	会議等	学童クラブ保護者会 町内自治会 地域	会議にかかわることで担当者との連携がしっかりとできている。今後も関係を継続していきたい。

(6)地域調査活動

調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題
乳幼児クラブアンケート	今後の活動参考の為 保護者の要望把握のため	乳幼児クラブ保護者	梅津児童館	無記名アンケート	来年度への課題や利用者の要望等を知る事ができ、運営についての改善に役立てる。
ステーション事業アンケート	今後の活動参考ため 保護者の要望把握のため	ステーション事業の参加者	梅津児童館	無記名アンケート	
学童クラブ夏休み保育アンケート	今後の活動参考の為 保護者の要望把握のため	学童クラブ保護者	梅津児童館	無記名アンケート	親への意識調査およびニーズの把握のため。
児童館利用者共通アンケート	児童館の評価や改善点の把握のため	児童館利用者	京都市社会福祉協議会	無記名アンケート	児童館の改善、向上に役立てる。

（　令和４　）年度　　児　童　館　事　業　年　間　活　動　報　告　書　　（　23 梅津　）児　童　館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	児童館だより（小学生・中高生版）	毎月1回	梅津小学校	全世帯分印刷、クラス毎に配布してもらう。	月の行事予定 活動報告	館内掲示や小学校全世帯配布で広報することによって行事や取組みの利用拡大につながっている。また、小学校の全クラスに配布してもらうことで、小学校との繋がりもできている。
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
	児童館だより（乳幼児親子版）	毎月1回	梅津学区各町内	自治会連合会にて配布または職員が各町内会長宅に届け、各町内での回覧をお願いする。	月の行事予定 活動報告	来館された乳幼児親子は、来館時にもらってかえることが多く、おたよりをみながら案内したり等、継続的な利用につながっている。また、地域に回覧・配布することで地域の方とのつながりができている。
			児童館乳幼児クラブ	クラブ参加者に配付。		
			児童館来館者	来館者が自由に持ち帰れるよう、玄関脇に常備。館内に掲示。		
			ほっこりスペース	互いにおたよりの掲示・交換を行っている。		
			右京子ども支援センター 右京保健センター　来所者	センターの方を通して来所者に配布していただく。		
			右京ブロック児童館	会議、研修の機会を利用しておたよりを交換。		
	地域子育て支援ステーション事業のチラシ	行事の 1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者	乳幼児クラブ参加者に配付。 おたよりにも印刷。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。	あおぞら児童館・移動動物園・絵本の読み聞かせの宣伝	声かけやホームページなどでも広報し、内容についても参加者のニーズを拾い上げ参加したいと思えるように工夫した。今年度もコロナの影響で密にならないようにするため人数制限や２・３部制にすることで参加者の枠を確保した。
	子育てサロンのチラシ配布の協力	行事の 1か月前から	乳幼児クラブ・ひろば参加者 児童館来館者	乳幼児クラブ参加者に配布。 おたよりにも印刷。館内に掲示。 児童館の玄関脇に常備。	子育てサロンの宣伝	梅津北児童館と会場を交互にして開催しているため、梅津学区以外の利用者の参加もある。
	よりみち	年1回	右京の乳幼児親子	右京各児童館にて配布。 右京の行事の際に配布。	右京の各児童館における乳幼児親子対象の取り組みの紹介	他児童館の利用につながっている。
	ホームページ	毎月1回	一般市民	インターネット	行事の案内、おたよりの閲覧、学童クラブ関係書類の添付	気軽にパソコンやスマートフォンから閲覧できることで、利用につながっている。
	掲示板	毎月1回	一般市民	掲示	各月の行事の案内、 ポスター・おたより掲示	児童館の前を通りがかった人が見て下さっている。